

西洋古楽器による小演奏会 古楽・風雅なあそび心 Vol.105

# ヴェネツィアゆかりの音楽家

## ～孤児院 (オスペダーレ) を取り巻く人々～

### ＜プログラム＞

A. ヴィヴァルディ：リコーダー、オーボエ、ヴァイオリン、ファゴット、通奏低音のための室内協奏曲 二長調 RV.94  
 リコーダー、オーボエ、ヴァイオリン、ファゴット、通奏低音のための室内協奏曲 ト短調 RV.105  
 リコーダー、ファゴット、通奏低音のためのソナタ イ短調 RV.86

B. ガルツピ       ：トリオソナタ

J.A. ハッセ       ：トリオソナタ

ほか ※プログラムは変更する場合がございます

神谷 徹      赤坂 放笛      伊左治 道生      前田 肇      吉竹 百合子  
(リコーダー)      (バロック オーボエ)      (バロック ヴァイオリン)      (バロック ファゴット)      (チェンバロ)



# 2013年 2 / 15 (金) 19:00開演 (18:30開場)

## 会場：日本基督教団 天満教会

地下鉄堺筋線・谷町線「南森町」駅下車2番・4番出口より南へ徒歩約5分、JR東西線「大阪天満宮」駅下車3番出口より南へ徒歩約6分  
京阪電車京阪本線「北浜」駅下車2番出口より北へ徒歩約10分、京阪電車中之島線「なにわ橋」駅下車3番出口より北へ徒歩約10分

入場料：一般3000円 (当日3500円) ・高校生以下1000円 (当日共)

※前売で完売の場合、当日券の販売はありません

■チケット取り扱い・お問い合わせ：そう楽舎 (赤坂)

電話：090-8147-4861 Email：souraku\_umami2000@yahoo.co.jp

■主催：そう楽舎 ■後援：大阪音楽大学同窓会《幸楽会》 京都バロック楽器アンサンブル コウベレックス 東京リコーダー協会 リコーダーJP



なにわに集う古楽衆

# そう楽舎

《2003年4月設立》

クラシック音楽界で音楽史の資料的見地から復活を遂げた西洋古楽。近年その演奏レベルが飛躍的に向上し、モダン楽器との垣根がなくなりました。しかし関西において西洋古楽は十分に普及しておりません。そんな関西で、子供から大人まで、気軽に西洋古楽を聴いて頂くために設立しました。

2003年7月に大阪市南森町のギャラリーにて「西洋古楽器による小演奏会シリーズ」をスタートさせ、2012年5月末までに計103回の演奏会を上演しましたが、同会場の閉鎖に伴い、大和文華館(奈良:学園前)の文華ホールにて同年10月104回目を上演、そしてこのたび天満教会にて105回目を上演の運びとなりました。

このほかの活動歴として、2004年7月に熊本県菊池恵楓園にて「狂言と音楽の集い」に出演、同年11月には岡山県長島愛生園にて演奏。登録文化財小河邸別邸(2008)、兵庫県立美術館(2009)、大阪府大東市立生涯学習センターアクロス及び、園田・街かどコンサート(2010)、大阪歴史博物館主催の開館10周年記念特別展「心齋橋きものモダン〜煌めきの大大阪時代」モダン大阪音楽会(2011)、ピッコロシアター共催の室内楽サロン(2012)等、各地にて演奏会を企画出演しています。

2009年には、大阪市の「ゆとりとみどりの振興局」文化部の公共事業『現代芸術創造支援事業』において事業委託団体として採択され、3年間に渡り、ワークショップと連動させた上方西洋古楽演奏会シリーズを、日本基督教団浪花教会や大阪市中央公会堂、国立文楽劇場、大阪歴史博物館などで開催しました。

日本民謡・三味線との試み「ほうがくdeバロック」と、能楽との試み「和洋の再会」は空前的な試みであり、あそび心のある聴衆から高い評価を得ました。2013年5/9,11,15には、上方西洋古楽演奏会シリーズ:ヴィヴァルディ室内協奏曲ほぼ全曲演奏会の開催を、川口基督教会にて予定しています。

## ◆神谷 徹(かみやとおる) リコーダー

京都大学理学部宇宙物理学科卒。

在学中よりリコーダーを始める。通算10回のリサイタルを開き、テレマン室内管弦楽団の独奏者としてドイツとアメリカの演奏旅行に参加するなど、バロック音楽を中心としたリコーダーの演奏と指導で活躍している。

また、リコーダーでの活動のかたわら、30年以上前から市販のストローでユニークな笛を作りはじめ、その楽器による、世代を問わず誰にでも楽しめるストローコンサートが大きな話題になり、マスコミにもたびたび取り上げられている。

1998年に「あたたかい心を育てる運動」第一回希望大賞を受賞。大阪音楽大学非常勤講師。毎日放送番組審議委員。

## ◆赤坂放笛(あかさかほーてき) バロック・オーボエ

相愛大学音楽学部器楽学科(古楽器専攻)でバロックオーボエを学び各地で古楽アンサンブルや古楽オーケストラにて演奏活動を行う。96年、関西で初めてのバロックオーボエ・ソロリサイタルを開催。88-02年の14年間重要無形文化財総合認定者の狂言師の下で玄人弟子として狂言を修行。その間に学校公演や海外公演に数多く出演。03年春、「そう楽舎」を立ち上げ、草片Nature Network-Space Kusabira(大阪市内)にて身近に楽しんで頂く「西洋古楽器による小演奏会シリーズ」を103回催し、現在別会場にて継続中。現在、そう楽舎主宰。東京リコーダー協会、(学)高槻中学・高等学校講師。

## ◆伊左治道生(いさじみちお) バロック・ヴァイオリン

桐朋学園大学演奏学科ヴァイオリン専攻卒業。ミラノ市立音楽院等に在籍し、2004年に東京芸術大学大学院古楽科修了。宗倫安、小林健次、磯野順子、宗倫匡、若松夏美、エンリコ・ガッティの各氏に師事。平成17年度文化庁新進芸術家海外留学生。イタリアに渡り研鑽を積みながら、古楽団体Accordone、I barocchisti、Modo Antiquo、La magnifica comunita、Il canto di orfeo、Harmonices Mundi、La divina armonia、Le musiche nove等で演奏、録音活動に参加している。目白バ・ロック音楽祭にて「バロックヴァイオリン・リサイタル」を開催。

古楽器による室内楽演奏会シリーズ「amici musicali」とリサイタルシリーズ「il violino magico」を主催し、好評を博す。

渡邊順生率いるザ・バロックバンドにて、第42回サントリー音楽賞受賞記念コンサートなどのコンサートマスターを務める。

## ◆前田肇(まえだはじめ) バロック・ファゴット

モダンバスーン、バロックバスーン、クラシカルバスーン奏者、編曲家。16歳よりモダンバスーンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。モダンバスーンを仙崎和男、光永武雄、青谷良明の各氏に師事。

1981年から2002年までバスーン奏者として京都フィルハーモニー室内合奏団に在籍。楽団に在籍中に古楽に興味を持ち、バロックバスーン、クラシカルバスーンの演奏活動を始める。日本で数少ない古楽バスーン奏者として活躍中。また、楽団に在籍中より編曲活動を始める。

クラシック、ジャズ、ポピュラー、校歌、邦楽など様々なジャンルの編曲をこなす。これまで手がけた編曲は1,500以上を数える。

## ◆吉竹百合子(よしだけゆりこ) チェンバロ

大阪音楽大学卒業後、同大学教育助手(西洋古楽演習担当)として演奏ほかチェンバロ製作に携わる。ヴェネツィアにてイタリア・チェンバロ協会主催のマスターコース修了。インスブルック夏期国際古楽祭に参加。国内外のマスターコースにて研鑽を積む。大阪音楽大学、京都産業大学、京都女子大学においての公開講座、フェニックス・エヴォリューションシリーズ、丹波の森国際音楽祭など関西を中心に活動のほか、金沢芸術村主催公演など各地に招聘され出演。ソロ・リサイタル開催、協奏曲のソリストとして各種オーケストラと協演するなど、数多くの演奏会に出演。現在、オーケストラ客演や録音、バロックダンスや邦楽といった多岐にわたるジャンルとの公演においてソロ及び通奏低音奏者として活動、後進の指導にもあたっている。

## 〈会場アクセス〉



- 地下鉄堺筋線・谷町線「南森町」2番・4番出口より、南へ徒歩約5分
- JR東西線「大阪天満宮」3番出口より、南へ徒歩約6分
- 京阪電車京阪本線「北浜」26番出口より、北へ徒歩約10分
- 京阪電車中之島線「なにわ橋」3番出口より、北へ徒歩約10分



♪お問い合わせ:そう楽舎(赤坂)

電話:090-8147-4861

Email:souraku\_umami2000@yahoo.co.jp